

# 島根県の経済動向

平成30年9月分

統 第 6 9 号 の 9  
平成 3 0 年 1 2 月 6 日

政策企画局統計調査課

## 一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、 持ち直しの動きが続いている一

生産活動は総じて持ち直している。雇用情勢は改善の動きが続いている。個人消費は緩やかに持ち直している。投資動向は持ち直しの兆しがみられる。

生産活動	⇒ ~総じて持ち直し~	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は116.4で前月比で8.6%低下し、前年比▲1.7%と17か月ぶりに下回った。 生産活動は、総じて持ち直している。
雇用情勢	⇒ ~改善の動き~	雇用面は、有効求人倍率は1.73倍で前月と同水準、新規求人数は0.3%と7か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は▲2.8%と3か月ぶりに、きまって支給する給与は▲0.9%と15か月連続でそれぞれ前年を下回った。 雇用面は改善の動きが続いているが、所得面は弱い動きがみられる。
個人消費	⇒ ~緩やかに持ち直し~	百貨店・スーパー販売額は4.1%と2か月ぶりに、家電大型専門店販売額は2.8%と3か月ぶりにそれぞれ前年を上回った。ホームセンター販売額は▲1.4%と2か月連続で前年を下回った。新車登録台数は▲3.6%と3か月ぶりに前年を下回った。 個人消費は、緩やかに持ち直している。
投資動向	⇒ ~持ち直しの兆し~	建築着工床面積（非居住用）は▲14.4%と7か月ぶりに、公共工事請負金額は▲7.1%と2か月連続で、新設住宅着工戸数は▲7.6%と2か月連続でそれぞれ前年を下回った。 投資動向は、持ち直しの兆しがみられる。
企業倒産	⇒ ~倒産件数0件~	企業倒産件数は0件。
金融情勢	⇒ ~貸出金残高は 対前年4.4%増~	銀行預金残高は22か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は97か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒ ~対前年1.4%上昇~	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は101.1となり、前年比1.4%の上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成30年12月6日公表）	CI先行指数は108.1となり、3か月連続の下降となった。 CI一致指数は134.0となり、2か月ぶりの下降となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成30年9月12日公表）	財務省松江財務事務所が公表した現状（30年7～9月期）の景況判断BSIは、▲5.6%ポイントと前期に引き続き「下降」超幅が縮小している。 30年度の設備投資計画は、前年度比17.6%の増加見通しとなっている。 （製造業 20.2%、非製造業 6.4%）

経 済 指 標		前年同月比（%） ただし*は除く。					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	117.3	128.5	122.8	120.2	127.3	116.4
	* "（前月比）	▲ 7.7	9.5	▲ 4.4	▲ 2.1	5.9	▲ 8.6
	* "（前年同月比）	3.1	9.3	2.8	4.4	4.3	▲ 1.7
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.69	1.73	1.73	1.72	1.73	1.73
	新規求人数	2.9	4.6	0.1	1.0	3.4	0.3
	常用労働者数	1.8	1.6	1.3	1.6	2.2	2.0
	現金給与総額	▲ 2.9	2.5	▲ 9.6	7.3	1.3	▲ 2.8
	きまって支給する給与	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 3.1	▲ 1.0	▲ 1.2	▲ 0.9
	所定外労働時間（製造業）	6.5	7.4	14.4	0.7	0.7	10.1
個人消費	百貨店・スーパー販売額	4.8	▲ 1.9	2.1	2.1	▲ 0.1	4.1
	ホームセンター販売額	▲ 1.0	▲ 6.7	▲ 0.7	2.0	▲ 4.1	▲ 1.4
	家電大型専門店販売額	4.4	▲ 1.4	8.0	▲ 1.8	▲ 4.8	2.8
	乗用車新車登録台数	3.4	▲ 2.4	▲ 1.5	4.4	0.4	▲ 3.6
	出雲空港利用者数	9.7	9.4	8.2	14.0	15.1	8.7
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	246.0	16.9	101.1	26.1	182.3	▲ 14.4
	公共工事請負金額	55.5	34.8	▲ 19.1	32.5	▲ 2.5	▲ 7.1
	新設住宅着工戸数	44.0	▲ 25.1	46.9	15.6	▲ 14.7	▲ 7.6
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	1	4	3	1	4	0
	* 負債総額（百万円）	19	434	153	45	2,255	0
金融情勢	銀行預金残高	1.6	1.0	2.2	1.2	1.3	1.6
	銀行貸出金残高	4.6	3.9	4.6	4.4	4.4	4.4
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.3	100.4	100.5	100.5	101.0	101.1
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	113.8	112.0	114.7	109.2	108.2	108.1
	* 景気動向指数（CI一致指数）	144.8	153.0	148.5	143.8	152.8	134.0

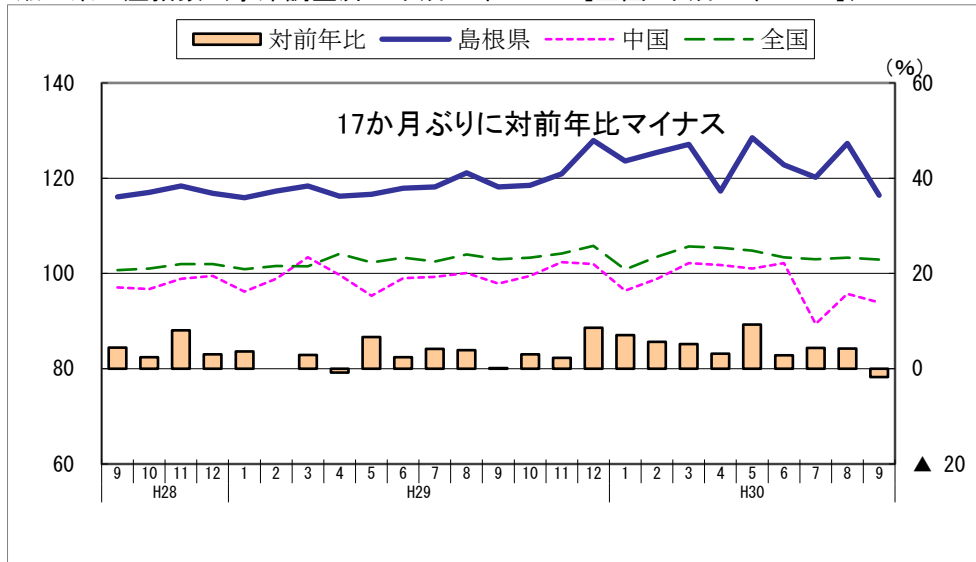
# 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成30年11月22日																							
	<p>景気は、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費は、持ち直している。</li> <li>・設備投資は、増加している。</li> <li>・輸出は、おおむね横ばいとなっている。</li> <li>・生産は、緩やかに増加している。</li> <li>・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。</li> <li>・雇用情勢は、着実に改善している。</li> <li>・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。</li> </ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。</p>																							
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」平成30年11月7日																							
	<p>～ 持ち直し基調の中で、一部に弱い動きがみられる ～</p> <p>中国地域の経済は、個人消費は持ち直しの動き、有効求人倍率は低下したものの引き続き高水準であるが、生産は回復途上にあるなど、持ち直し基調の中で、一部に弱い動きがみられる。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向</td> <td>…回復の動き</td> <td>7. 企業倒産</td> <td>…件数は増加、負債額は減少</td> </tr> <tr> <td>2. 個人消費</td> <td>…持ち直しの動き</td> <td>8. 設備投資</td> <td>…前年度を上回る見込み</td> </tr> <tr> <td>3. 雇 用</td> <td>…有効求人倍率は低下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 景 況 感</td> <td>…現状、先行きともに上昇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 貿 易</td> <td>…輸出は減少、輸入は増加</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 建設動向</td> <td>…公共工事、住宅建設ともに減少</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. 生産動向	…回復の動き	7. 企業倒産	…件数は増加、負債額は減少	2. 個人消費	…持ち直しの動き	8. 設備投資	…前年度を上回る見込み	3. 雇 用	…有効求人倍率は低下			4. 景 況 感	…現状、先行きともに上昇			5. 貿 易	…輸出は減少、輸入は増加			6. 建設動向	…公共工事、住宅建設ともに減少	
1. 生産動向	…回復の動き	7. 企業倒産	…件数は増加、負債額は減少																					
2. 個人消費	…持ち直しの動き	8. 設備投資	…前年度を上回る見込み																					
3. 雇 用	…有効求人倍率は低下																							
4. 景 況 感	…現状、先行きともに上昇																							
5. 貿 易	…輸出は減少、輸入は増加																							
6. 建設動向	…公共工事、住宅建設ともに減少																							
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」2018年11月1日																							
	<p>山陰の景気は、緩やかな回復を続けている。最終需要をみると、個人消費は、基調として底堅い動きが続いている。住宅投資と公共投資は、弱含んで推移している。一方、設備投資は、受注や収益の好調を背景に水準を切り上げている。製造業の生産は、振れはあるものの、高操業が続いている。この間、雇用・所得環境は、振れはあるものの、着実な改善傾向にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費は、基調として底堅い動きが続いている。</li> <li>・住宅投資は、弱含んで推移している。</li> <li>・設備投資は、受注や収益の好調を背景に水準を切り上げている。</li> <li>・公共投資は、弱含んで推移している。</li> <li>・生産は、振れはあるものの、高操業が続いている。</li> <li>・雇用・所得環境は、振れはあるものの、着実な改善傾向にある。</li> </ul>																							
	「山陰経済動向（株式会社山陰合同銀行）」2018年11月30日																							
	<p>総じて個人消費に弱い動きがみられるものの、生産活動に持ち直しの動きがみられ、設備投資が増加し、雇用情勢も引き続き改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共投資は、総じて弱い動きとなっている。</li> <li>・設備投資は、2018年度は、製造業、非製造業とも前年度を上回る計画となっており、全産業で前年度を上回る計画（企業動向調査9月の全産業設備投資額は、2017年度実績対前年度比5.9%減、2018年度計画同28.3%増）。</li> <li>・住宅建設は、持ち直しの動きが弱まっている。</li> <li>・個人消費は、耐久消費財では持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・生産は、海外景気の緩やかな回復や競争力の高さなどを背景に一部で高水準の操業が続く業種がみられるものの、持ち直しの動きに足踏みがみられる。</li> <li>・雇用情勢は、引き続き改善している。</li> <li>・企業の業況判断は、足元（2018年度上期）は、製造業、非製造業とも悪化し、全産業で悪化となった（前回 7.2→今回 ▲12.0）。先行きについては、製造業、非製造業ともに改善を見込んでいる（企業動向調査9月調査）。</li> </ul>																							
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成30年11月1日（四半期ごとに公表）																							
	<p>県内経済は、一部に平成30年7月豪雨の影響がみられたものの、全体としては持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費 緩やかに持ち直している</li> <li>・生産活動 総じてみれば回復しつつある</li> <li>・雇用情勢 改善しており、人手不足感が広がっている</li> <li>・公共事業 前年度を上回る</li> <li>・設備投資 平成30年度は前年度を上回る見通し</li> <li>・企業収益 平成30年度は増益見通し</li> </ul>																							

# 経済指標の推移

## 【生産活動】 ～総じて持ち直し～

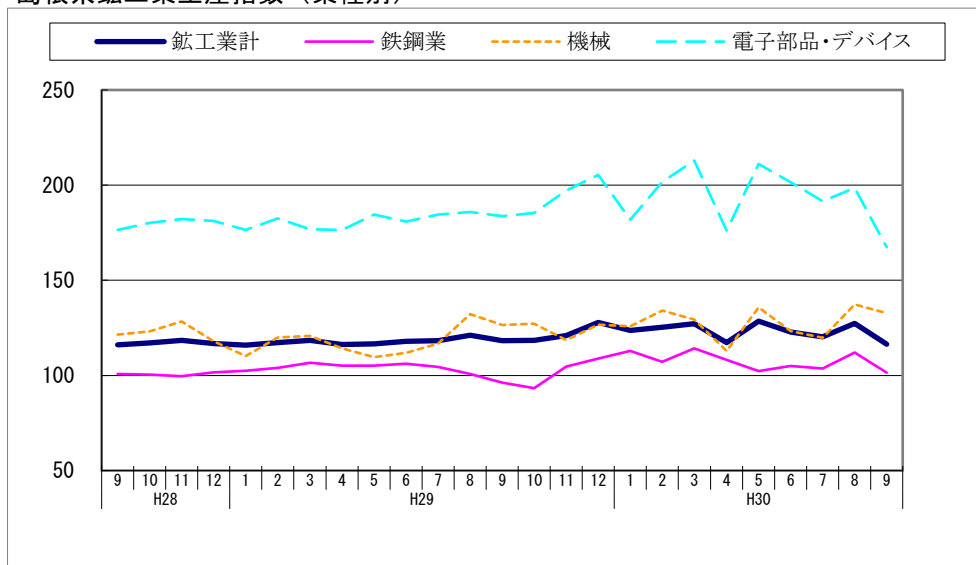
鉱工業生産指数（季節調整済 平成22年=100 [全国 平成27年=100]）



（注）対前年比は、島根県の原指数

（県統計調査課、経済産業省）

### 島根県鉱工業生産指数（業種別）

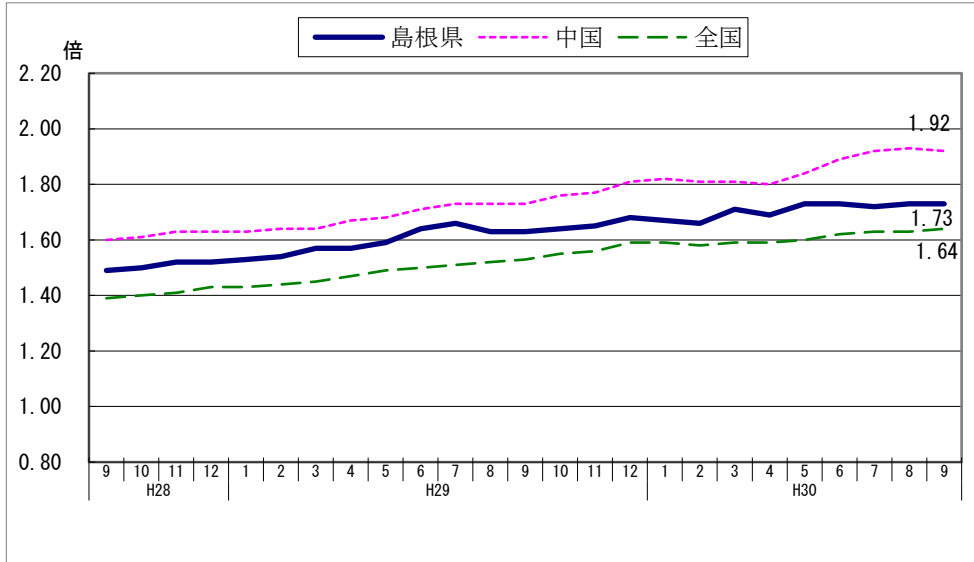


（注）機械とは、はん用・生産用・業務用機械工業である

（県統計調査課）

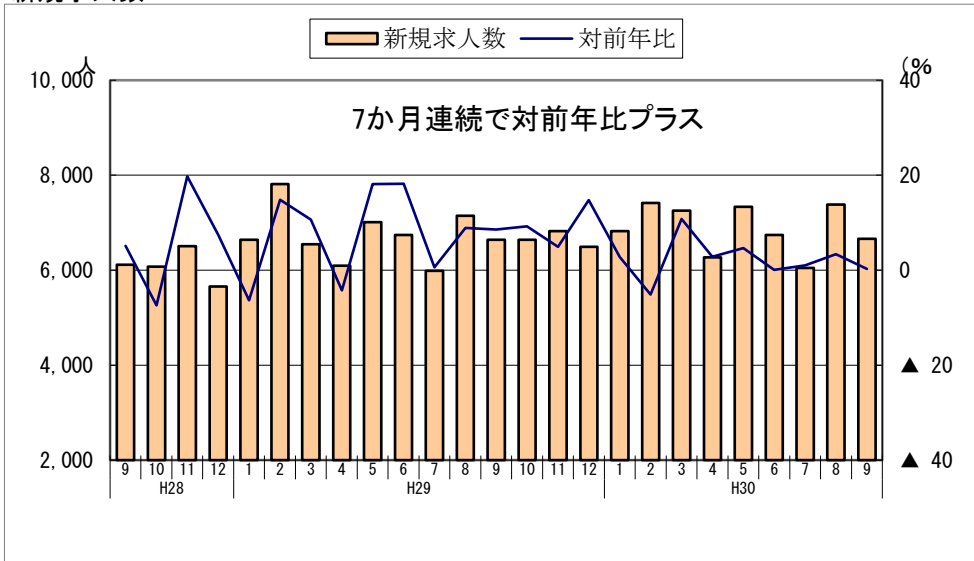
【雇用情勢】 ～改善の動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



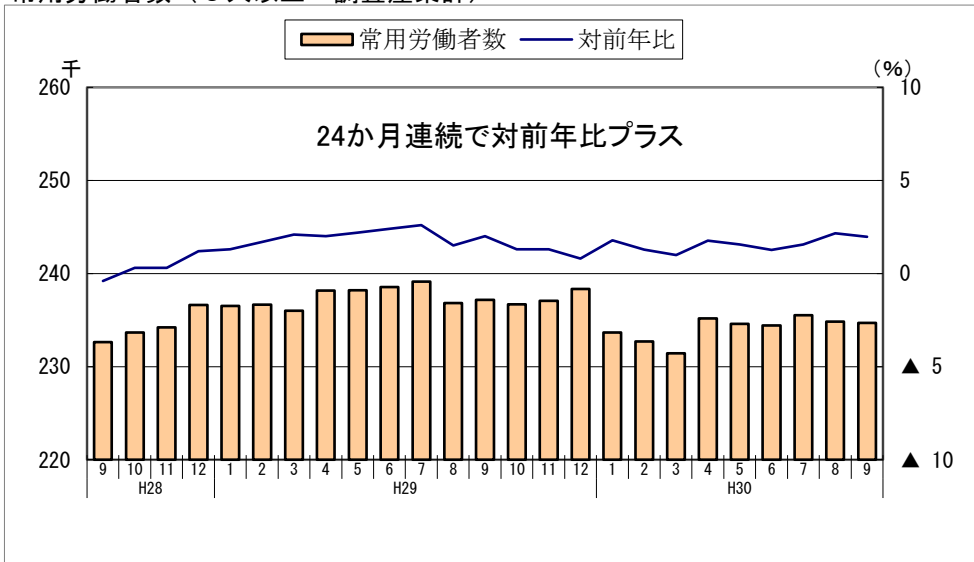
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

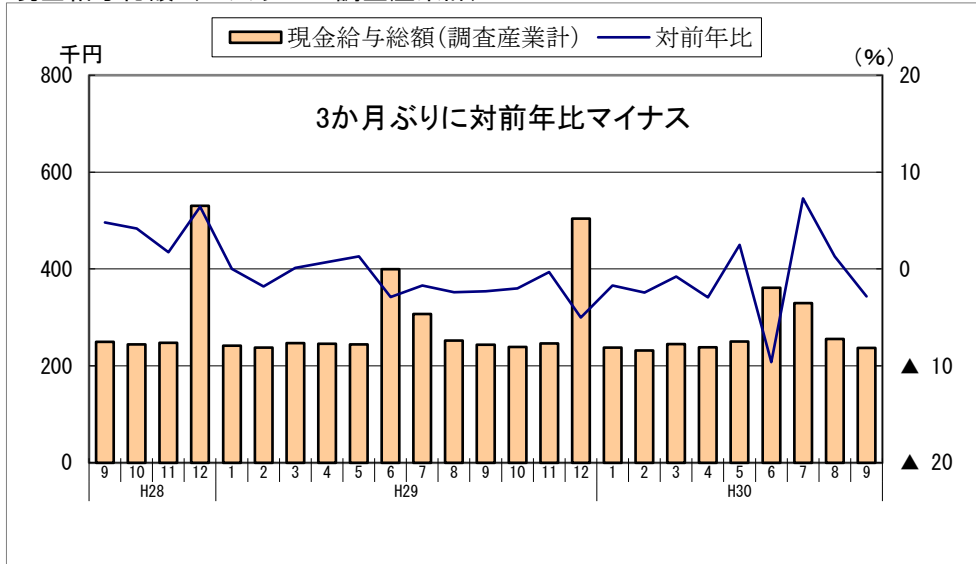
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

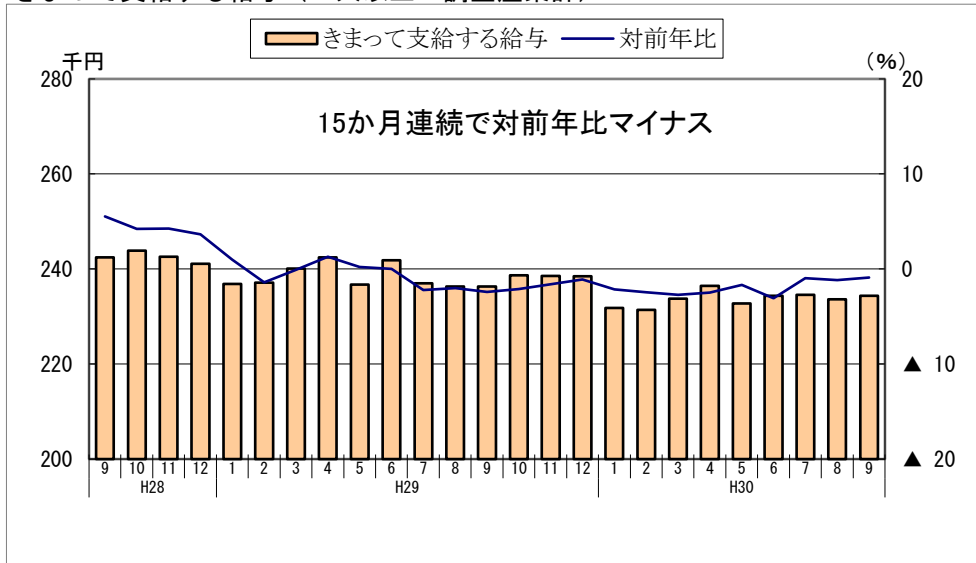
【雇用情勢】 ～改善の動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



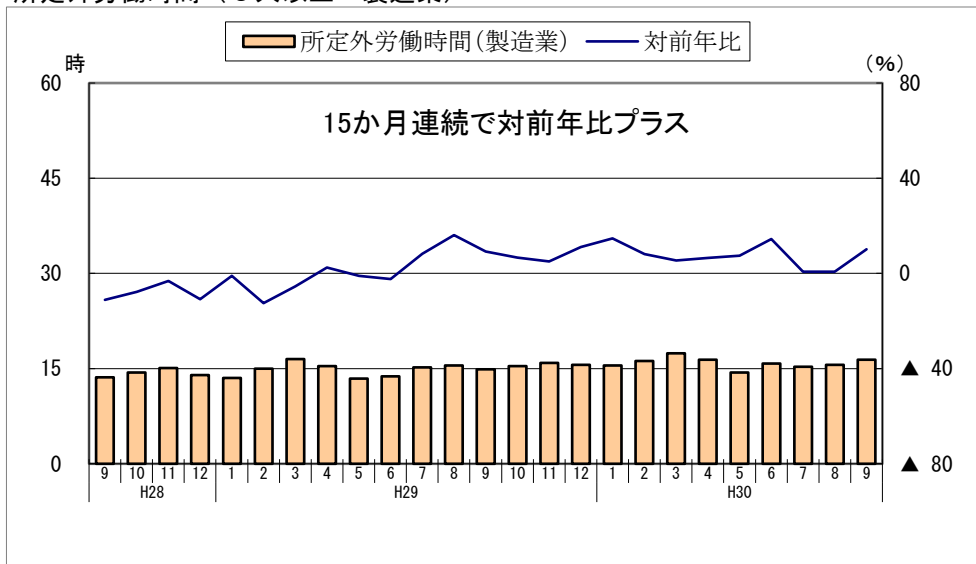
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

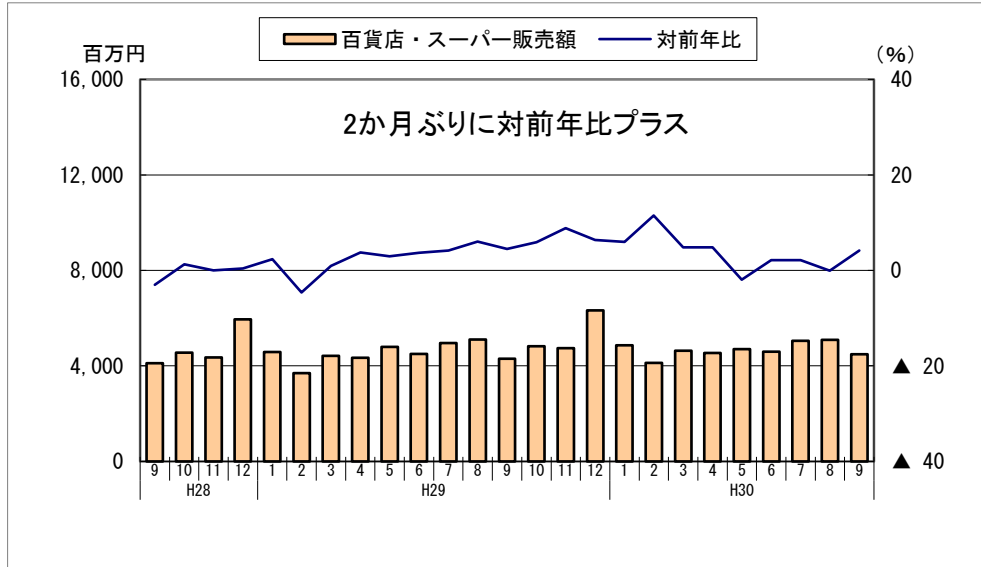
所定外労働時間（5人以上・製造業）



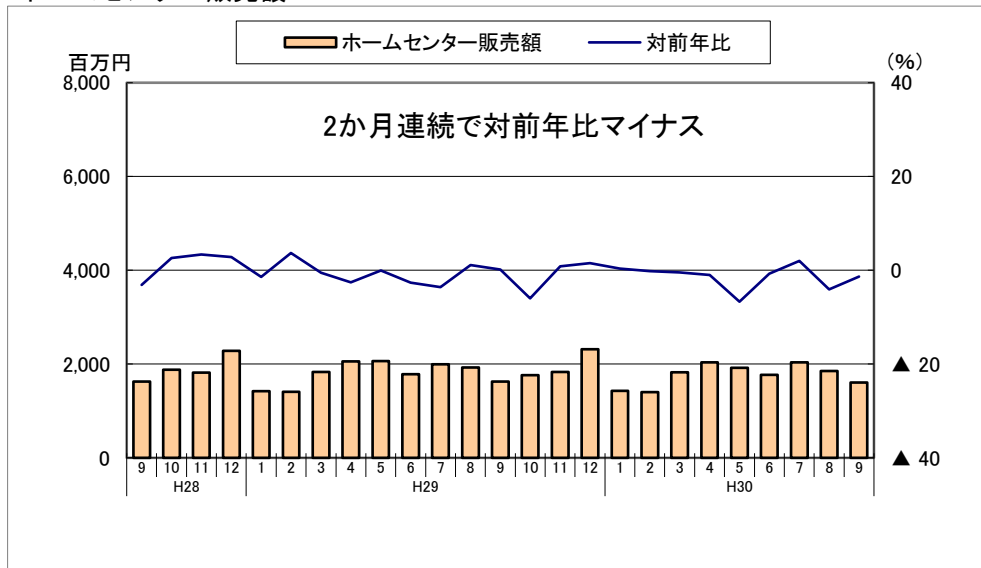
(県統計調査課)

【 個人消費 】 ～緩やかに持ち直し～

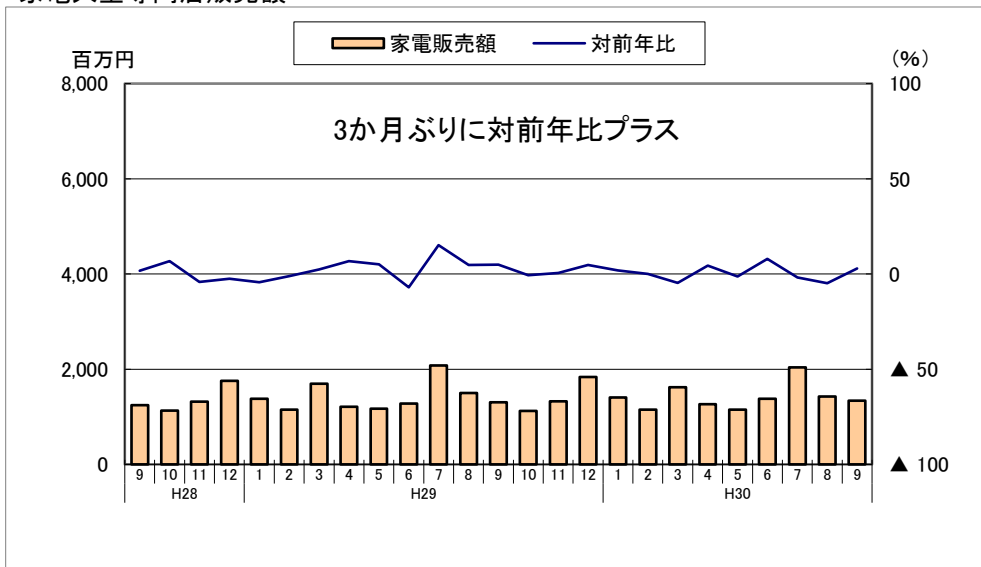
百貨店・スーパー販売額



ホームセンター販売額

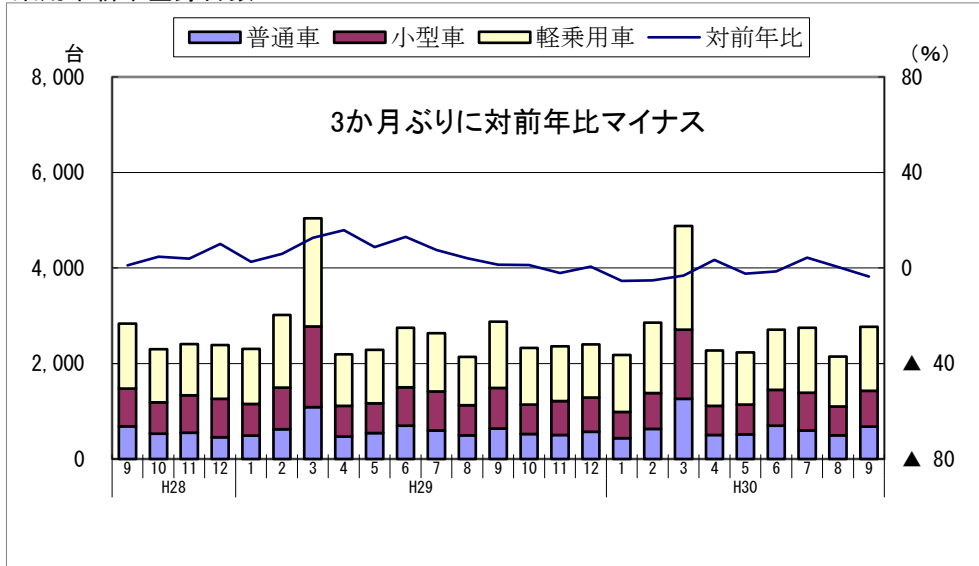


家電大型専門店販売額



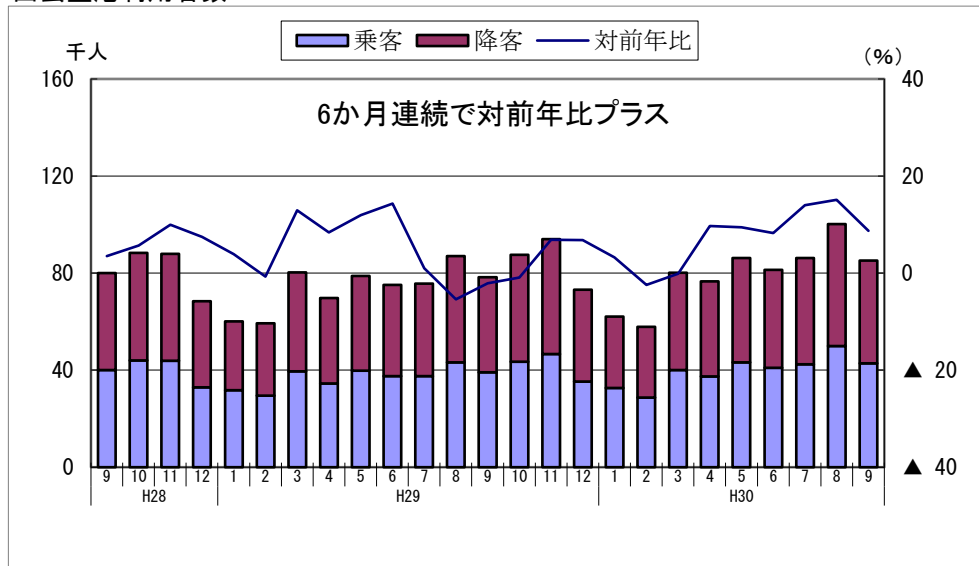
【 個人消費 】 ～緩やかに持ち直し～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

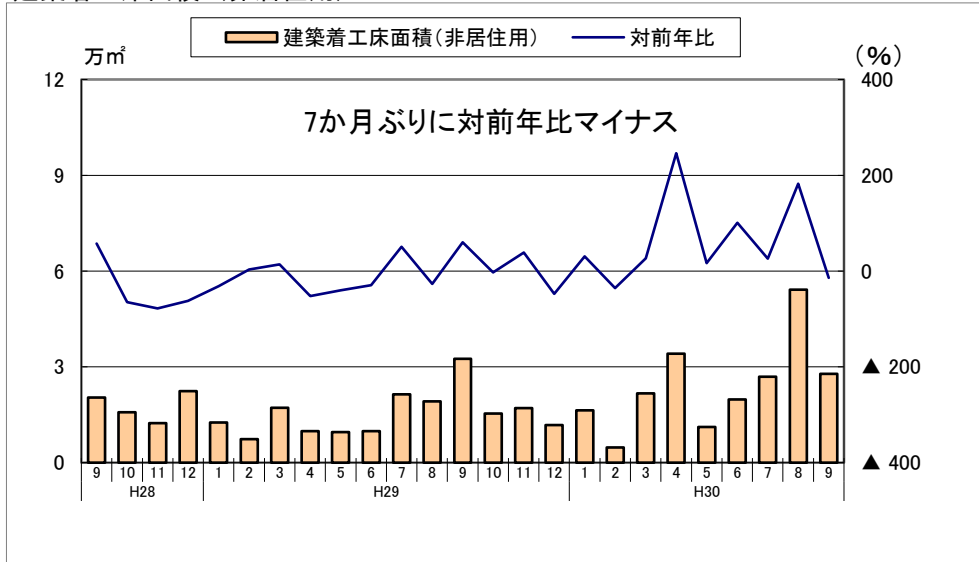
出雲空港利用者数



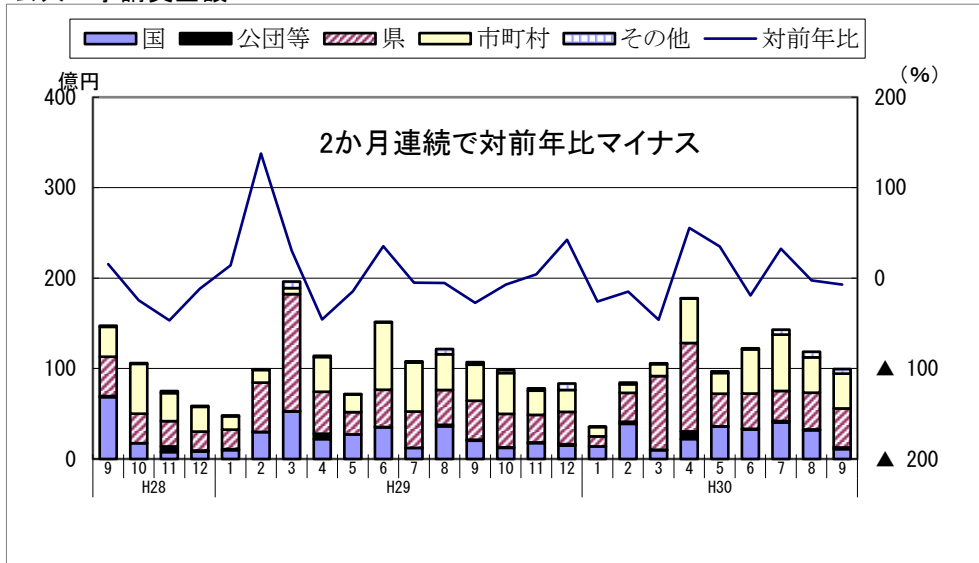
(県港湾空港課)

【 投資動向 】 ～持ち直しの兆し～

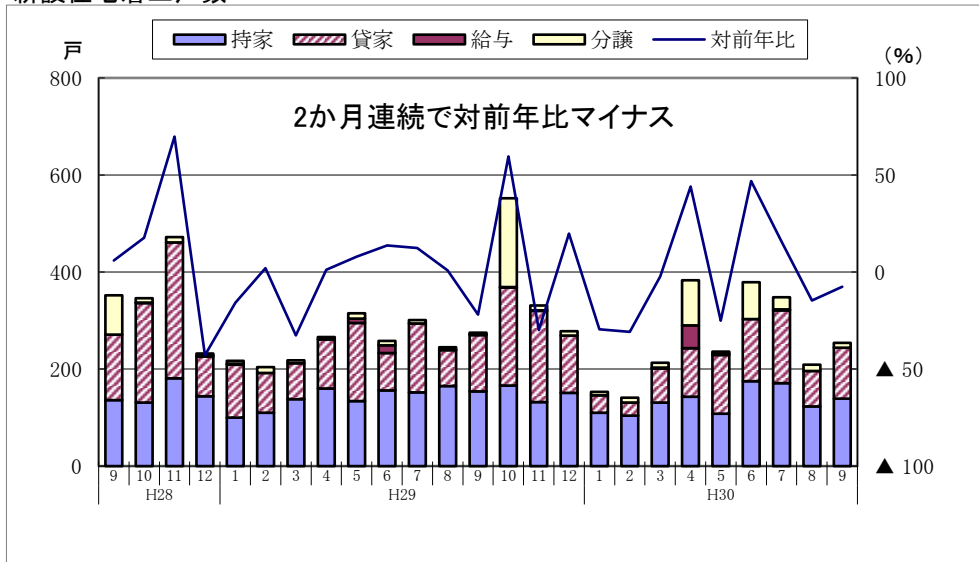
建築着工床面積（非居住用）



公共工事請負金額



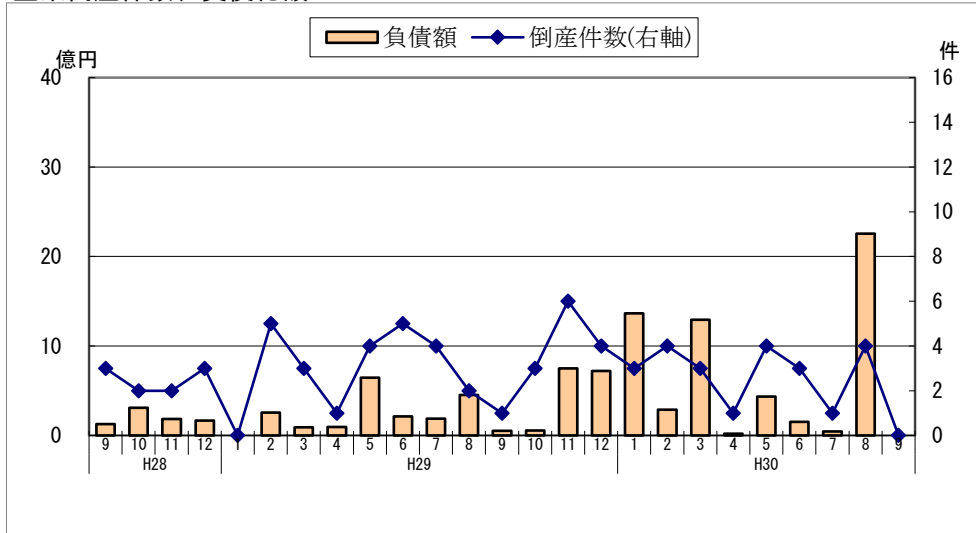
新設住宅着工戸数





【 企業倒産 】 ～倒産件数0件～

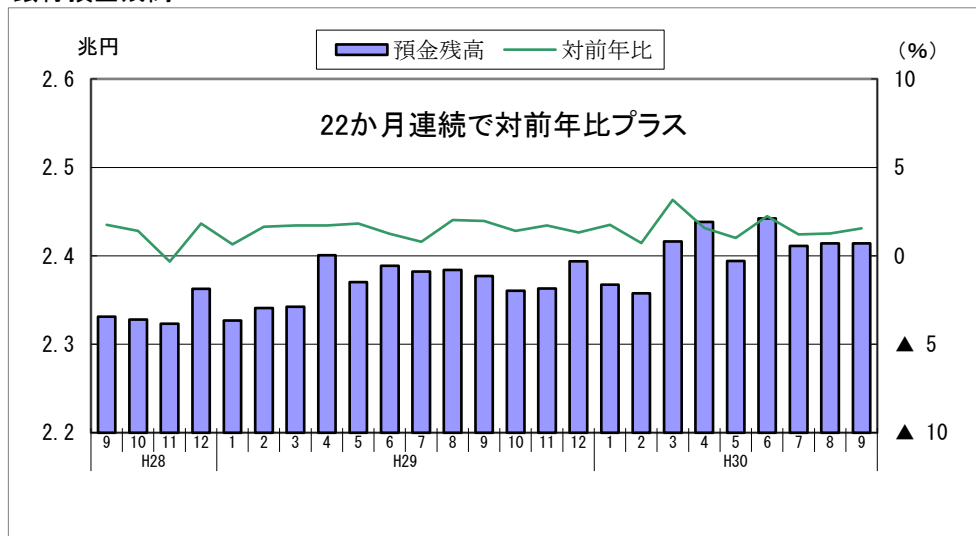
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

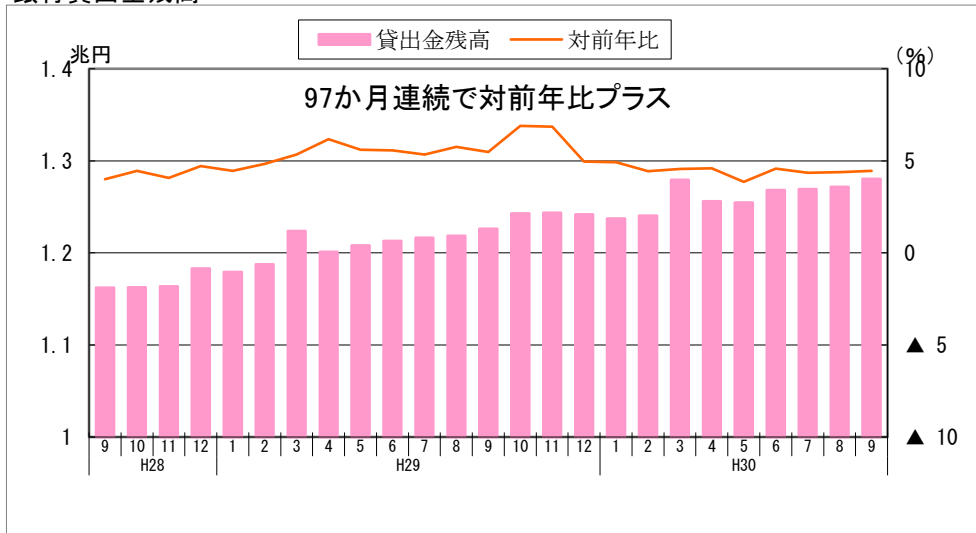
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年4.4%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

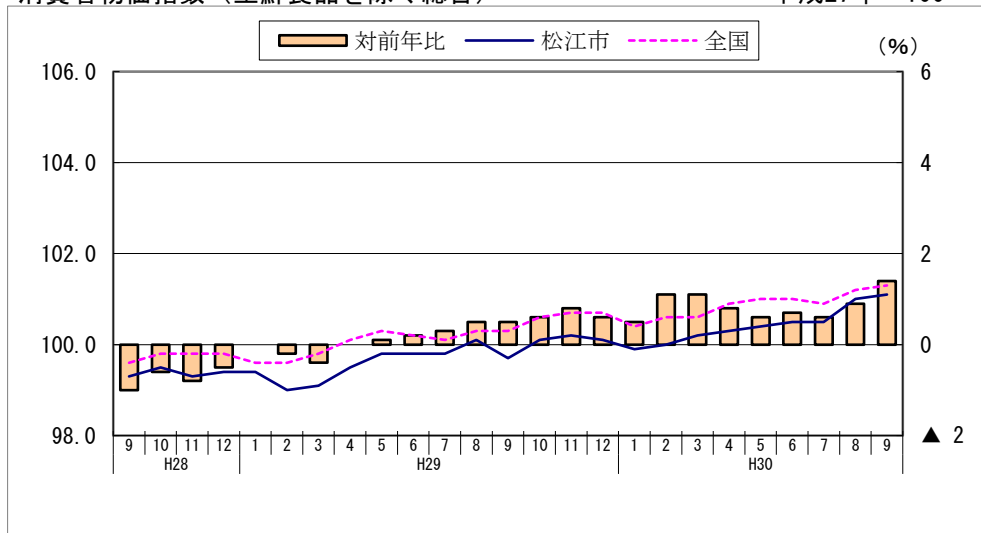
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年1.4%上昇～

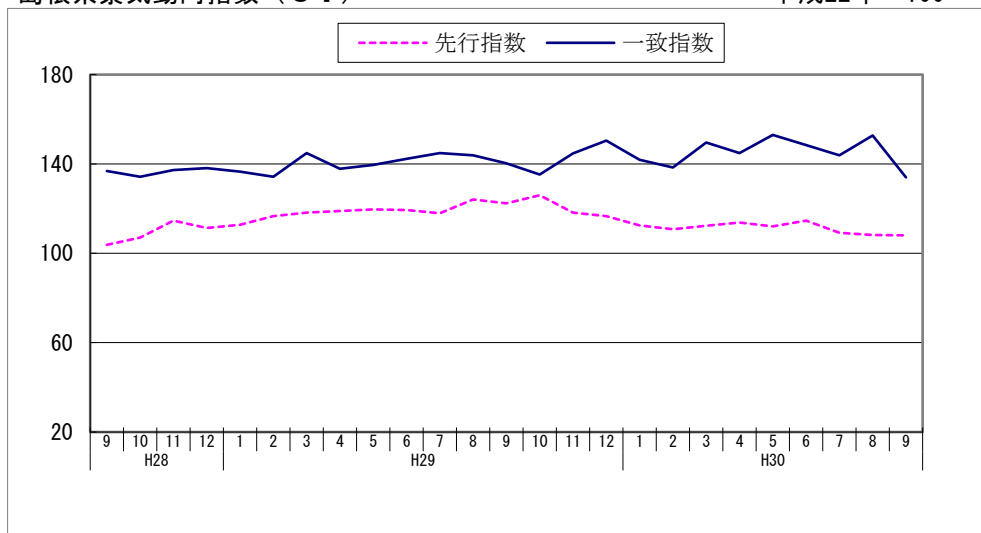
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） 平成27年＝100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数（C I） 平成22年＝100



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成30年9月12日 財務省松江財務事務所）  
平成30年7～9月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	30年4～6月 前回調査	30年7～9月 今回調査	30年10～12月 見 通 し	31年1～3月 見 通 し
全 産 業	▲ 6.5	( ▲0.9) ▲ 5.6	( 15.7) 8.4	2.8
製 造 業	15.0	( ▲2.5) ▲ 2.5	( 17.5) 10.0	0.0
非製造業	▲ 19.1	( 0.0) ▲ 7.5	( 14.7) 7.5	4.5
大 企 業	11.1	( 0.0) 0.0	( 11.1) 0.0	11.1
中堅企業	▲ 2.6	( ▲5.1) 5.1	( 20.5) 5.1	▲ 10.3
中小企業	▲ 11.7	( 1.7) ▲ 6.8	( 13.3) 11.9	10.2

※ ( ) 書きは、前回(30年4～6月期)調査時の見通し